2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　東洋製罐グループホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5901　　ＵＲＬ　https://www.tskg-hd.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）中村　琢司
問合せ先責任者　（役職名）IR室長　　（氏名）木本　要　　ＴＥＬ　03-4514-2019
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	529,556	9.3	34,811	15.4	37,228	11.9	26,985	△20.9
2026年３月期中間期	484,303	4.3	30,155	64.7	33,275	80.7	34,127	177.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　45,482百万円（112.4%）　2026年３月期中間期　21,408百万円（△31.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	179.38	―
2026年３月期中間期	222.01	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	1,282,710	756,360	56.8
2026年３月期	1,240,692	727,593	56.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　728,881百万円　2026年３月期　697,703百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	57.00	―	75.00	132.00
2027年３月期	―	93.00			
2027年３月期（予想）			―	93.00	186.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,035,000	7.5	45,000	△13.5	47,500	△18.5	36,000	△34.5	239.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　一社　（社名）、除外　1社　（社名）Bangkok Can Manufacturing Co., Ltd.

（注）詳細は、添付資料Ｐ.９「２．中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ.９「２．中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	153,162,162株	2026年３月期	153,162,162株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	3,200,305株	2026年３月期	2,790,863株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	150,435,215株	2026年３月期中間期	153,718,777株

（注）当社は役員向け株式交付信託制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式（598,000株）を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ.４「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10
３．補足情報 …… 11
所在地別セグメント …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日から2026年９月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調が継続しました。一方、先行きは、不安定な国際情勢、物価の上昇や金融市場の変動などにより、不透明な状況にあります。

このような環境下におきまして、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	前中間期	当中間期	増減	増減率
売上高	484,303	529,556	45,253	9.3%
営業利益	30,155	34,811	4,655	15.4%
売上高営業利益率	6.2%	6.6%	0.3%	―
経常利益	33,275	37,228	3,952	11.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	34,127	26,985	△7,141	△20.9%

包装容器事業を中心に原材料価格の上昇があったものの、価格改定を実施したほか、海外エンジニアリング事業が回復基調にあることなどにより、売上高は5,295億56百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は348億11百万円（前年同期比15.4%増）、経常利益は372億28百万円（前年同期比11.9%増）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益が減少したことにより、269億85百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

各セグメントの営業の概況は次のとおりです。

（単位：百万円）

報告セグメント等	売上高（外部顧客）				営業利益			
	前中間期	当中間期	増減	増減率	前中間期	当中間期	増減	増減率
包装容器事業	312,112	323,376	11,264	3.6%	19,643	18,127	△1,515	△7.7%
エンジニアリング・充填・物流事業	79,102	102,094	22,991	29.1%	331	4,014	3,683	―
鋼板関連事業	48,407	53,239	4,831	10.0%	4,707	6,678	1,970	41.9%
機能材料関連事業	27,671	32,132	4,460	16.1%	2,923	4,488	1,564	53.5%
不動産関連事業	4,167	4,236	68	1.6%	2,499	2,421	△77	△3.1%
その他	12,841	14,477	1,636	12.7%	1,113	562	△551	△49.5%
調整額	―	―	―	―	△1,063	△1,481	△417	―
合計	484,303	529,556	45,253	9.3%	30,155	34,811	4,655	15.4%

〔包装容器事業〕

売上高は3,233億76百万円（前年同期比3.6％増）となり、営業利益は181億27百万円（前年同期比7.7％減）となりました。

①金属製品の製造販売※

価格改定を実施したほか、国内において前年同期にアルコール飲料の値上げに伴う一時的な需要の減少が見られましたが、当中間連結会計期間においては需要が回復し、アルコール飲料向けの空缶及び缶蓋が増加したことから、売上高は前年同期を上回りました。

※第１四半期連結会計期間において、タイで飲料缶の製造販売を行うBangkok Can Manufacturing Co., Ltd. を連結子会社から持分法適用関連会社としたことに伴い、売上高が減少した影響を含んでおります。

②プラスチック製品の製造販売

飲料用PETボトル及びプリフォームが減少したものの、食品及び生活用品向けのボトルや清涼飲料向けのキャップなどにおいて価格改定を実施したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

③紙製品の製造販売

清涼飲料向けの段ボールが減少したものの、価格改定を実施したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

④ガラス製品の製造販売

清涼飲料やビール向けのびん製品が減少したものの、価格改定を実施したほか、化学薬品向けのびん製品や、ハウスウエア製品が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

〔エンジニアリング・充填・物流事業〕

売上高は1,020億94百万円（前年同期比29.1％増）となり、営業利益は40億14百万円（前年同期は３億31百万円の営業利益）となりました。

①エンジニアリング事業

海外既存顧客における設備投資抑制の動きが緩和し、製缶・製蓋機械の販売が増加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

②充填事業

タイにおいて飲料の充填が減少したものの、為替の影響のほか、国内におけるエアゾール製品及びマレーシアにおけるホームケア製品の充填が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

③物流事業

貨物自動車運送業及び倉庫業などの売上高は前年同期を上回りました。

〔鋼板関連事業〕

売上高は532億39百万円（前年同期比10.0％増）となり、営業利益は66億78百万円（前年同期比41.9％増）となりました。

電気・電子部品向けでは、車載用二次電池部材などが増加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

缶用材料では、18リットル缶向けが増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

自動車・産業機械部品向けでは、駆動系部品材が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

建築・家電向けでは、ユニットバス向け内装材が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

〔機能材料関連事業〕

売上高は321億32百万円（前年同期比16.1％増）となり、営業利益は44億88百万円（前年同期比53.5％増）となりました。

磁気ディスク用アルミ基板では、データセンター向けのハードディスク用途で市況が前年下期以降堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

光学用機能フィルムでは、フラットパネルディスプレイの市況悪化の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

ほうろう製品向けの釉薬や顔料などのその他の機能材料は、ほうろう製品向けのガラスフリットや顔料が増加したことにより、前年同期を上回りました。

〔不動産関連事業〕

オフィスビル及び商業施設等の賃貸につきましては、売上高は42億36百万円（前年同期比1.6％増）となり、営業利益は24億21百万円（前年同期比3.1％減）となりました。

〔その他〕

自動車用プレス金型・機械器具・硬質合金及び農業用資材製品などの製造販売、石油製品などの販売及び損害保険代理業などにつきましては、売上高は144億77百万円（前年同期比12.7%増）となり、営業利益は５億62百万円（前年同期比49.5%減）となりました。

なお、当中間連結会計期間における連結子会社の増減は、次のとおりです。

・減少（１社）

Bangkok Can Manufacturing Co., Ltd.※

※第１四半期連結会計期間において、当社の連結子会社から持分法適用関連会社となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は、１兆2,827億10百万円となりました。保有上場有価証券の時価上昇による投資有価証券の増加や棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ420億18百万円の増加となりました。

当中間連結会計期間末の負債は、5,263億50百万円となりました。長期前受収益の増加などにより前連結会計年度末に比べ132億52百万円の増加となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、7,563億60百万円となりました。保有上場有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加などにより前連結会計年度末に比べ287億66百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.2%から56.8%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月５日に公表いたしました2027年３月期通期の業績予想につきまして、上期の実績を受け、次のとおり修正いたします。下期の見通しは前回予想から変更しておりません。

上期の実績につきまして、売上高は、包装容器事業において販売数量が想定を下回ったことなどにより、前回予想を下回りました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、包装容器事業において価格改定を前倒しで進めたことなどにより、前回予想を上回りました。

なお、2027年３月期における期末配当金につきましては、当初予定と変更ございません。

2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,040,000	百万円 38,000	百万円 40,500	百万円 31,500	円 銭 209.18
今回修正予想（B）	1,035,000	45,000	47,500	36,000	239.68
増減額（B－A）	△5,000	7,000	7,000	4,500	
増減率（%）	△0.5	18.4	17.3	14.3	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	963,213	52,005	58,270	54,983	361.63

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	123,160	118,364
受取手形、売掛金及び契約資産	227,189	222,244
電子記録債権	37,422	44,477
商品及び製品	122,571	129,883
仕掛品	25,131	25,935
原材料及び貯蔵品	59,211	61,645
その他	26,659	38,075
貸倒引当金	△3,548	△3,634
流動資産合計	617,797	636,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	109,701	105,682
機械装置及び運搬具（純額）	123,812	117,715
土地	79,790	78,879
建設仮勘定	21,700	25,015
その他（純額）	18,859	18,594
有形固定資産合計	353,864	345,887
無形固定資産		
のれん	3,973	3,892
その他	21,384	20,722
無形固定資産合計	25,357	24,614
投資その他の資産		
投資有価証券	169,432	198,633
退職給付に係る資産	50,761	51,402
繰延税金資産	4,288	4,138
その他	23,119	25,017
貸倒引当金	△3,929	△3,974
投資その他の資産合計	243,671	275,216
固定資産合計	622,894	645,718
資産合計	1,240,692	1,282,710

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,782	119,942
短期借入金	85,413	61,178
未払法人税等	18,848	13,276
汚染負荷量賦課金引当金	102	99
その他	98,482	104,324
流動負債合計	315,630	298,821
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	98,076	106,868
繰延税金負債	25,638	32,541
特別修繕引当金	6,224	6,386
汚染負荷量賦課金引当金	1,660	1,626
役員退職慰労引当金	1,266	1,368
役員株式給付引当金	417	459
退職給付に係る負債	30,988	31,619
長期前受収益	－	13,766
その他	13,194	12,892
固定負債合計	197,467	227,529
負債合計	513,098	526,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	11,673	12,112
利益剰余金	528,229	543,902
自己株式	△7,159	△9,563
株主資本合計	543,838	557,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,594	85,633
繰延ヘッジ損益	△74	12
為替換算調整勘定	53,747	57,106
退職給付に係る調整累計額	30,597	28,584
その他の包括利益累計額合計	153,865	171,335
非支配株主持分	29,889	27,479
純資産合計	727,593	756,360
負債純資産合計	1,240,692	1,282,710

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	484,303	529,556
売上原価	410,624	448,254
売上総利益	73,678	81,302
販売費及び一般管理費	43,523	46,491
営業利益	30,155	34,811
営業外収益		
受取利息	679	695
受取配当金	1,837	1,772
為替差益	1,092	－
持分法による投資利益	1,773	2,167
その他	2,339	2,498
営業外収益合計	7,722	7,133
営業外費用		
支払利息	2,047	2,026
固定資産除却損	569	252
為替差損	－	821
その他	1,985	1,617
営業外費用合計	4,602	4,716
経常利益	33,275	37,228
特別利益		
投資有価証券売却益	11,772	110
固定資産売却益	2,676	519
関係会社株式売却益	143	1,671
特別利益合計	14,592	2,301
税金等調整前中間純利益	47,868	39,529
法人税等	12,634	11,660
中間純利益	35,233	27,869
非支配株主に帰属する中間純利益	1,106	883
親会社株主に帰属する中間純利益	34,127	26,985

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	35,233	27,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△694	16,151
繰延ヘッジ損益	△63	86
為替換算調整勘定	△8,301	2,099
退職給付に係る調整額	△947	△2,025
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,817	1,302
その他の包括利益合計	△13,825	17,613
中間包括利益	21,408	45,482
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	20,943	44,535
非支配株主に係る中間包括利益	465	946

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はない。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はない。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

（連結の範囲の重要な変更）

第１四半期連結会計期間において、Bangkok Can Manufacturing Co., Ltd. の株式の一部を譲渡したことにより、議決権所有割合が49%に減少したため、連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めている。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注1）	合計	調整額（注2）	中間連結損益計算書計上額（注3）
	包装容器事業	エンジニアリング・充填・物流事業	鋼板関連事業	機能材料関連事業	不動産関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	312,112	79,102	48,407	27,671	4,167	471,462	12,841	484,303	－	484,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,535	25,276	11,557	30	794	40,195	3,440	43,636	△43,636	－
計	314,647	104,379	59,965	27,702	4,962	511,657	16,282	527,939	△43,636	484,303
セグメント利益	19,643	331	4,707	2,923	2,499	30,105	1,113	31,219	△1,063	30,155

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

２．セグメント利益の調整額△1,063百万円には、セグメント間取引消去7,079百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△8,142百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注1）	合計	調整額（注2）	中間連結損益計算書計上額（注3）
	包装容器事業	エンジニアリング・充填・物流事業	鋼板関連事業	機能材料関連事業	不動産関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	323,376	102,094	53,239	32,132	4,236	515,078	14,477	529,556	－	529,556
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,801	26,059	11,249	20	684	40,815	3,683	44,499	△44,499	－
計	326,177	128,154	64,489	32,152	4,920	555,894	18,161	574,055	△44,499	529,556
セグメント利益	18,127	4,014	6,678	4,488	2,421	35,730	562	36,292	△1,481	34,811

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

２．セグメント利益の調整額△1,481百万円には、セグメント間取引消去7,946百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△9,428百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

３．補足情報

所在地別セグメント

前中間連結会計期間　（自　2025年４月１日　　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	400,834	47,635	35,834	484,303	－	484,303
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,553	9,452	172	14,178	△14,178	－
計	405,387	57,087	36,006	498,481	△14,178	484,303
営業利益又は損失(△)	26,020	6,605	△2,387	30,238	△83	30,155

当中間連結会計期間　（自　2026年４月１日　　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	426,132	49,309	54,114	529,556	－	529,556
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	6,465	10,927	161	17,554	△17,554	－
計	432,597	60,237	54,276	547,111	△17,554	529,556
営業利益	27,634	6,355	772	34,762	48	34,811

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

２．日本以外の区分に属する主な国又は地域

（１）アジア……タイ、中国、マレーシア

（２）その他……米国